

天皇制の存続と天皇家の継承 —中世史の視点から—

講師 東京大学史料編纂所 所長 本郷恵子先生

日本の天皇家は古代から今日まで、世界的にも稀な126代にわたる継承を実現してきました。これが可能となったのは、「天皇」が絶対的な権力を握っていたからではなく、摂関政治や院政、武家政権との並立など、むしろ「天皇」が後景に退いている場面が多かったからこそだと考えられます。一方で、「天皇」を頂点とする官位制度や儀式の体系は、前近代を通じて忘れられずに粛々と伝えられ、実践されています。「天皇」や天皇制をどのように受けとめるかという大きな課題について、中世史研究の視点から見てくることをお話ししたいと思います。

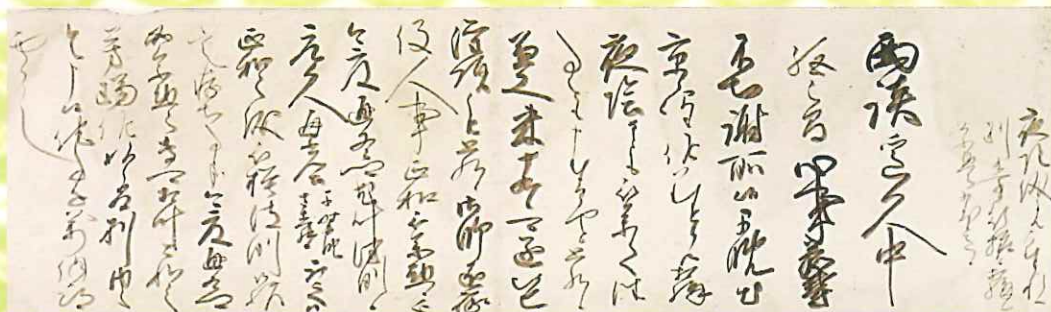
【講師プロフィール】

1987年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学、博士(文学)

1987年東京大学史料編纂所入所、現在同研究所教授 2021年史料編纂所所長

【主な著書】

『中世公家政権の研究』(東京大学出版会、1998年) 『日本の歴史6 京・鎌倉 ふたつの王権』(小学館、2008年) 『物語の舞台を歩く古今著聞集』(山川出版社、2010年) 『蕩尽する中世』(新潮選書、2012年) 『買ひ物の日本史』(角川ソフィア文庫、2013年) 『怪しいものたちの中世』(角川選書、2015年) 『院政—天皇と上皇の日本史—』(講談社現代新書、2019年) 『室町將軍の権力—鎌倉幕府にはできなかったこと—』(朝日文庫、2020年)



暦応二年五月十八日 光厳上皇自筆書状(『中院一品記』所収、東京大学史料編纂所所蔵)

- 【日 時】 2022年12月3日(土) 午後2時~午後4時 (受付は午後1時30分より)
- 【場 所】 横浜市歴史博物館 講堂 市営地下鉄 センター北駅 下車徒歩5分
- 【募集人員】 170名 (応募者多数の場合抽選)
- 【参加費】 500円
- 【申込方法】 往復はがき(一人一通)
①講座名 ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤どこで開催を知ったかを明記し
下記へお申し込み下さい。
- 【送 り 先】 〒223-0066 横浜市港北区高田西3-15-11
横浜歴博もりあげ隊事務局 杉木 宛
- 【申込締切】 2022年11月25日(金) (当日必着)
- 【問合せ先】 横浜歴博もりあげ隊事務局 TEL080-4896-4677 (11月15日より使用可 9:00~17:00)

横浜歴博もりあげ隊ホームページ <https://sites.google.com/site/moriage20/>

HPQRコード



主催：横浜歴博もりあげ隊 共催：横浜市歴史博物館 後援：横浜郷土史団体連絡協議会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催日時等が変わる場合があります。最新の情報はホームページまたはお電話にてご確認ください。

横浜古代史料を読む会 講演会

奈良時代の女性天皇

近年の女性天皇（女帝）についての研究は、荒木敏夫さんの「なぜ女帝が即位したのか」（2009年）という論文のなかで、「なぜ、女天皇が即位したのか」という数的例外（百二十六代中、女帝は八十代）についての疑問解決が求められたことを契機とします。その後、女帝は政治能力の高さから推戴された存在で、男帝の即位要件と同じであったとの研究が次々に公表され、一般向けの新書や選書も数多く出版されました。ただその割には、学界全体の女帝理解は以前とそれほど変わっていないように思われます。はたして女帝はなぜ、どのように即位したのでしょうか。今回は、女帝が最も多く即位した奈良時代（八世紀）を中心に、その理由や背景を史料に即して検討してみたいと思います。（講師記）

講師 國學院大學教授 佐藤長門氏

（プロフィール）

一九五九年福島県生れ。一九九三年國學院大學大学院文学研究科博士課程を単位取得退学。駒場学園高校教諭・國學院大學専任講師・助教授を経て、二〇〇九年から文学部教授。二〇〇八年博士（歴史学・國學院大學）の学位取得。

（主な著書）

『日本古代王権の構造と展開』吉川弘文館、二〇〇九年
『蘇我大臣家』山川出版社、二〇一六年
『遣唐使と入唐僧の研究』（編著）高志書院、二〇一五年
『古代東アジアの仏教交流』（編著）勉誠出版、二〇一八年

2022年12月24日(土)

午後2時～4時

（受付は午後1時30分から）

会場：横浜市歴史博物館 講堂
（横浜市営地下鉄センター北駅 徒歩5分）
募集人員：160名（応募者多数の場合は抽選）
参加費：500円（当日受付でお支払いください）
申込方法：往復ハガキ（一人一通）
①講座名 ②〒住所 ③氏名（ふりがな）
④電話番号を明記して、下記へお申込みください
送り先：〒224-0021 横浜市都筑区北山田6-3-6 長田方
横浜古代史料を読む会 事務局
申込締切：2022年12月10日（土）当日必着
問合せ先：同上事務局 TEL 045-594-0187（9:00～17:00）

新型コロナウイルス感染の拡大状況により、開催日時が変更になる場合があります



平城宮 第1次大極殿（復元）



大極殿内の高御座（復元）

主催 横浜古代史料を読む会

共催 横浜市歴史博物館